

# 広島県の中世遺跡と 発掘調査の成果

遺跡の発掘調査と聞くと、多くの皆さんは縄文時代や弥生時代といったいわゆる原始時代の遺跡を思い浮かべることと思います。ところが、国土開発が進展した1970年代以降は、鎌倉時代から南北朝時代・室町時代・戦国時代にかけての中世の遺跡が全国各地で数多く発掘調査されるようになり、当時の社会のイメージは大きく描き換えられています。

広島県域には、全国的にも貴重な成果を上げた中世遺跡がいくつか存在します。今回はその中から、県北の北広島町を中心とする地域の城館遺跡と、瀬戸内海沿岸地域の港町に関する遺跡を取り上げ、中世遺跡の発掘調査が明らかにした地域の歩みや人々の暮らしの様子を紹介します。

■日 時：平成 28 年 6 月 4 日・11 日・18 日（全 3 回）

土曜日 10：30～12：00

■会 場：広島県立図書館会議室（広島市中区千田町 3 丁目 7-47）

日 程	テ ー マ	講 師
6 月 4 日	中世遺跡の発掘調査がもたらしたものの	県立広島大学人間文化学部准教授 鈴木 康之
6 月 11 日	広島県における城館遺跡の発掘調査	広島県文化財保護審議会委員 小都 隆
6 月 18 日	港町の発掘調査が示す瀬戸内海の流通・交流	県立広島大学人間文化学部准教授 鈴木 康之

■受 講 料：無料

■募 集 人 数：35 名

■対 象：どなたでも（原則として全回、出席できる方）

■申 込 方 法：往復はがきで、往信面の裏に、①郵便番号、②住所、③名前、④ふりがな、⑤電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、名前（「〇〇様」）をご記入の上、平成 28 年 5 月 19 日（木）（消印有効）までに下の申込先にお送りください。申込多数の場合は抽選となります。受講の可否は申込締切日以降に返信はがきでお知らせします。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座のご案内以外の目的には使用しません。

■申 込 ・ 問 合 せ 先：

〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71  
県立広島大学地域連携センター「中世遺跡講座」係  
電話（082）251-9534（平日 9:00～18:00）

■主 催：県立広島大学地域連携センター、広島県立図書館

(返信面の表)	(往信面の裏)
〇 〇 〇 〇 様	①郵便番号 ②住所 ③名前 ④ふりがな ⑤電話番号



# 講座内容



## 第1回 中世遺跡の発掘調査がもたらしたもの

県立広島大学人間文化学部 准教授 鈴木 康之

全国各地で多くの中世遺跡が発掘調査されるようになった社会背景とともに、発掘調査によって中世という時代を研究することの意義や、具体的な成果を紹介するなかから、中世考古学という学問領域の特質や、隣接諸科学との関係についてお話しします。

## 第2回 広島県における城館遺跡の発掘調査

広島県文化財保護審議会委員 小都 隆

広島県では城館遺跡の発掘調査が数多く行われています。このなかで県北の北広島町域では発掘調査に並行して史料調査や遺跡分布調査が行われ、地域の全体像を明らかにする試みがなされています。調査研究の成果とともに城館遺跡の保存と活用についても紹介します。

## 第3回 港町の発掘調査が示す瀬戸内海の流通・交流

県立広島大学人間文化学部 准教授 鈴木 康之

日本列島における物流の大動脈ともいえる瀬戸内海沿岸には、古くから多くの港町が存在していました。ここでは、発掘調査が実施された「草戸千軒」「尾道」「鞆」という備後地域の港町を取り上げ、それぞれの港町遺跡の調査研究の成果や、瀬戸内海をめぐる流通・交流に果たした役割を紹介します。